

## 繊維事業部

## お客さまと交流を深める

## ―第39回三備会―

9月6日、「第39回三備会」を倉敷アイビースクエアにて開催した。「三備会」とは、岡山・広島両県にまたがる三備地区（備前・備中・備後）を中心に繊維産業に携わっておられるユニフォーム・カジュアル・ジーンズなどのアパレルメーカーや生産協力会社、商社の方々をお招きして毎年行われている懇親会である。

講演会では、地球科学の専門家であり、京都大学名誉教授・京都大学経営管理大学院客員教授の鎌田浩毅様をお招きし、「地震と火山の日本に生きる（地球科学から見たリスクマネジメント）」をテーマに講演いただいた。これから起こりうる自



▲講演会講師 鎌田教授

然災害から身を守り、一人でも被害者を減らしていきたいという思いから、具体的な数字を用いてお話しいただいたことで、あらためて災害に対する緊張感と危機感を持つことができた。懇親会場へと場所を移し、冒頭のあいさつに立った西垣社長は予測できない米国関税の動きや不安定な中東情勢をはじめ、先のない経済情勢のなかでより安定した会社経営をしていく必要があると述べていた。

またそのためには3カ年の経営計画である各施策を加速して実施していく、今後一層皆さまとともに手を取り合い成長して



▲開会あいさつ（西垣社長）

いきたいとの意向を述べられた。続いて、来賓を代表してコーコス信岡株式会社の信岡社長は気候変動や市場の急速な変化により、顧客のニーズに柔軟に対応することが企業にとってますます困難になっていると述べられ、こうした状況下で求められるのは、企業同士が連携し、それぞれの強みを生かしながらより高付加価値な商品を生み出す取り組みだとお話しをされた。そして大原孫三郎から代々受け継いできた歴史を私たちで引き継いでいこうと、乾杯のご発声をいただいた。



▲乾杯のご発声（信岡社長）

開宴後は、立食形式にてお食事しながら、歓談を楽しんだ。会後半では恒例の抽選会にて、中川新事業部長がくじを引き、当選者の方へカタログギフトを

お渡しし、記念写真を撮影した。当選者のお名前を呼ぶと歓声があがり大いに盛り上がった。最後に藤田会長から来場者の方々へのお開きのあいさつをいただいた。

6月に行われた繊維事業部長交代や国内外の繊維事業部の構造改革に触れられ、独自技術に磨きをかけながら社会課題を解決していきたいとお話しいただいた。



▲閉会あいさつ（藤田会長）

そして今後も商品・サービスをタイムリーに提供し続け「ユア・ベスト・パートナー」であり続けるために会社全体として日々努力を続けていくと会を締めくくった。

（ユニフォーム課

椿 渚生 記）